

スクエア free セミナー  
11月24日

株式会社アイ・ティ・プロデュース  
佐々木 務

# 1. 当社のご紹介

## [1] 会社概略

会社名 株式会社アイ・ティ・プロデュース  
設立 2006年9月  
代表取締役 佐々木 務  
所在地 東京都中央区勝どき2-18-1 黎明スカイレジタル 1113号室  
URL <http://www.it-produce.co.jp/>

### 事業内容

データベース構築/運用サービス  
OSS(Open Source Software)の導入支援/運用保守サービス  
BIシステム構築の構築支援サービス

資格 東京都経営革新計画承認取得企業 産労商支第531号  
特定労働者派遣事業届出企業 特13-310751

### 主要取引先

株式会社アシスト、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ  
ソフトバンクテクノロジー株式会社、フリービット株式会社  
パシフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社OPENスクエア  
トッパンエムアンドアイ株式会社、株式会社ジール、  
株式会社アイエイエフコンサルティング、株式会社エクサ 他多数

# 1. 当社のご紹介

## [2] 最近の活動



中小企業総合展JISMEE2011

2011/11/9～11 幕張メッセ

来場者数は合計約33000人(正式な発表は後日)  
の方が幕張メッセにお越しいただきました。

### 「ディザスタリカバリ」って何？ コミPo! を使って一目瞭然！ 株式会社アイ・ティ・プロデュースの事例

発行日: 2011年11月16日 発行部数: 2,000部



ディザスタリカバリ、という言葉をご存知ですか？  
災害時にメインサーバーが動かなくなった際、遠隔地の代替機に切り替えて、システムを復旧させることです。文字だけではおぼろげと伝わりやすい「ディザスタリカバリ」について、マンガで分かりやすく説明している企業があります。今回は株式会社アイ・ティ・プロデュースさんの事例をご紹介します。

「ディザスタ (disaster)」とは災害や大惨事を意味する英語です。今年3月の東日本震災では、住民情報などの人的情報や、製造情報などのデータベースを接続したサーバーが、津波により流されてしまい、データの復旧ができなくなる企業や自治体がありました。



海外の保険会社の評価では、特に、東京から横浜にかけての地域は、世界の中でも、自然災害のリスクが高い地域として、認識されています。日々データ二重化の必要性を感じていても、どうやればいいのか分からない、というデータ管理難も多いと思います。ネットワークインフラが進化した現在では、二重化する方法として、遠隔地にバックアップにあたるディザスタリカバリサイトを構築しておく方法があります。



データベースの専門家集団、株式会社アイ・ティ・プロデュースでは、以前より、Oracleのディザスタリカバリサイトの設計、構築を行ってまいりました。同社ではマンガで、ディザスタリカバリの概要と必要性について分かりやすく説明しています。結果マンガのページはこちらから。



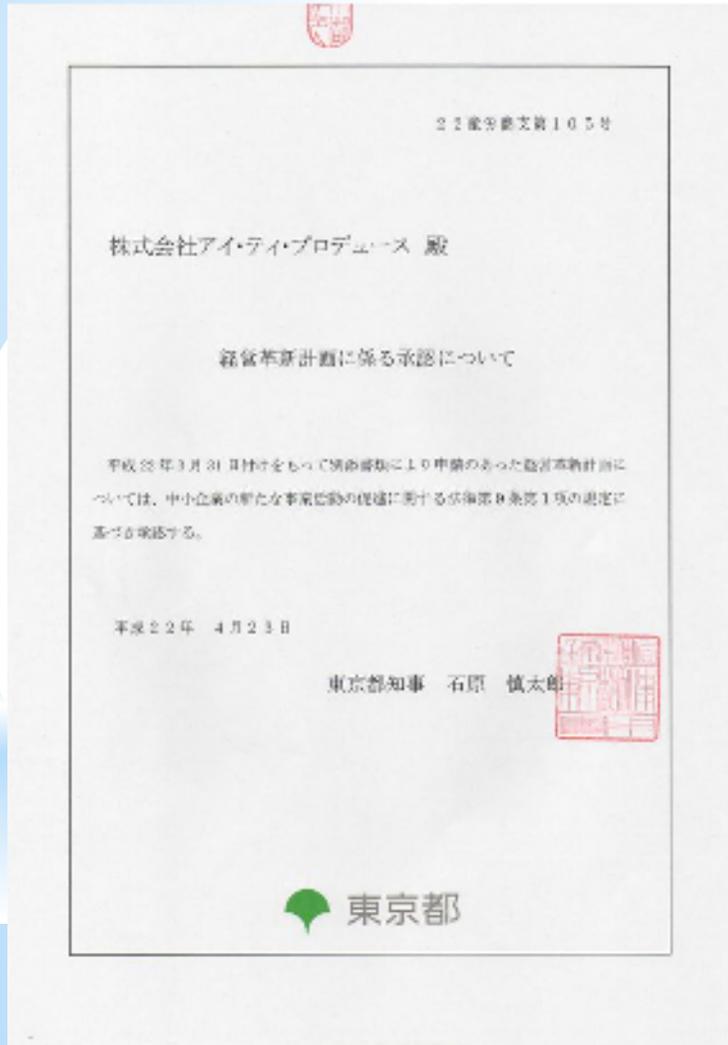
使ったコマは、なんとたった8コマ。この手の説明を文章で書いてしまうと、専門用語が頻出したりして、なかなか読んでもらえなかったりしますが、マンガならサクッと読めますね。なお、このマンガは先日の中企業総合展JISMEE2011でデモンstrationとしても配布されたそうです。



ディザスタリカバリサイトの設計、構築を行なっている株式会社アイ・ティ・プロデュースさんのページはこちらです。

# 1. 当社のご紹介

## [3] 最近の活動



### 経営革新計画承認制度について

1999年から、中小企業新事業促進法によりスタート

23年8月現在で、全国4万8千件

都道府県などから、経営革新計画の承認を受けることにより、経営革新の支援策を受けられる。

# 1. 当社のご紹介

## [2] サービス案内

### ■ データベース構築/運用サービス

- － 製品導入サービス
- － データベース設計から構築/運用まで
- － トラブルシューティング
- － 監視/リモート保守サービス
- － 製品移行、データ移行

### ■ OSS (Open Source Software) の導入支援/運用保守サービス

- － インフラ設計
- － HW設置
- － ソフトウェア導入
- － 運用保守サービス

### ■ BIシステムの構築支援サービス

- － DWHの構築
- － BIシステム設計～構築まで

## 2. データベースの移行実績

### ■ Oracle から Oracle

Oracle8i,9i,10g 等から、最新バージョン、  
RAC構成、HA構成変更等 多数実績あります。

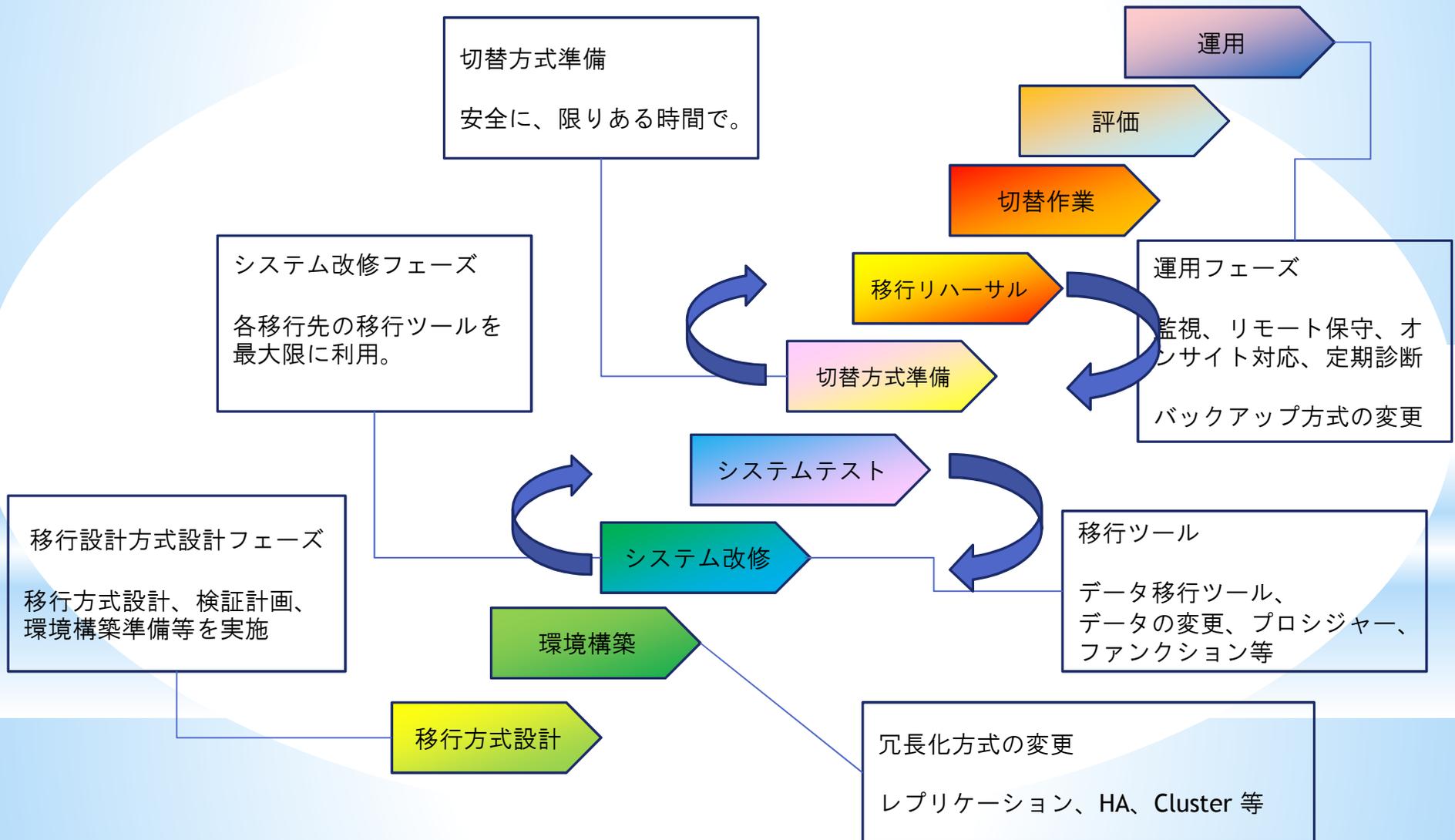
### ■ 色々なDB から Oracle

Sybase 等から、Oracle  
少しあります。

### ■ Oracle から OSS DB

Oracleから、EnterpriseDB、MySQL …

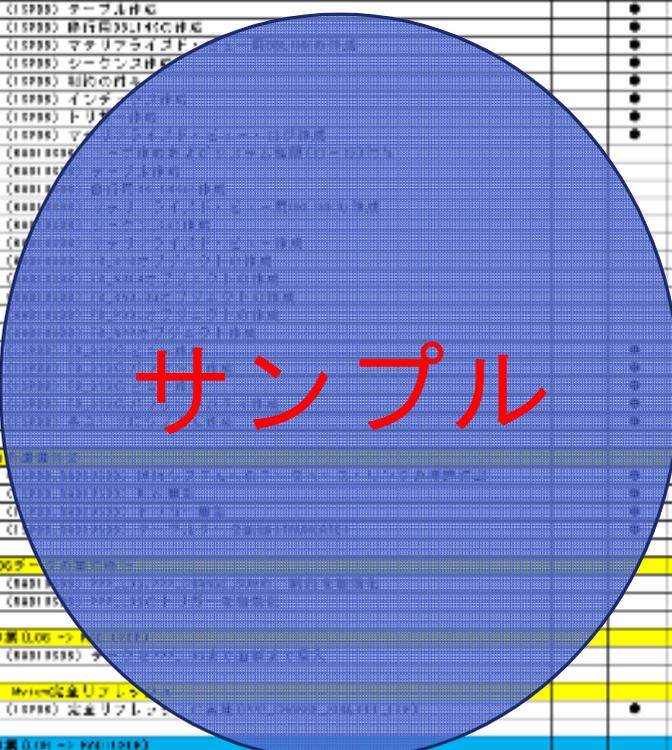
# 3. データベースの移行サービス



# 3. データベースの移行サービス

移行と言っても、いまあるDBと同じ環境を作ってほしいという要望は少ない

- 複数のDBを1つに纏めて
- 対障害性を高めて
- BCP環境の構築も考慮して
- サービスを継続しつつ、短時間で切り替えを行おうとすると、作業タスクだけで、100以上に及ぶ事も



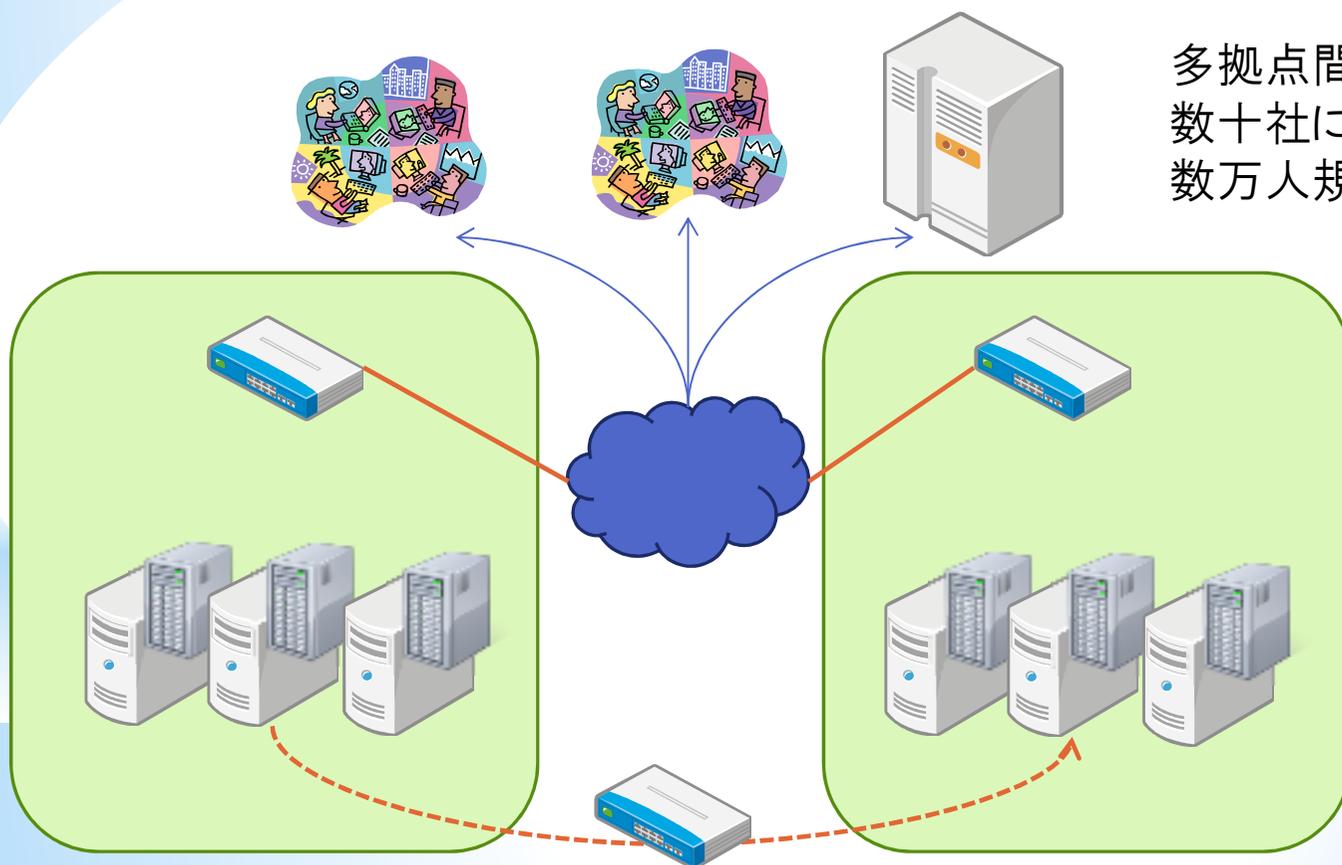
作業タスク	対象サービス		
	従来型	DBE	DBE1018
0 移行までの準備作業			
0-1 (SPDB, 94018539) 移行の準備	●	●	
0-2 (SPDB, 94018539) シーケンス制約をマスキング	●	●	
0-3 (SPDB, 94018539) J2Cの修正	●	●	
0-4 (SPDB, 94018539) J2Cの修正	●	●	
0-5 (SPDB, 94018539) ニュー作成	●	●	
0-6 (SPDB) ニュー作成およびシステム権限(ロール)付与	●	●	
0-7 (SPDB) テーブル作成	●	●	
0-8 (SPDB) 移行開始前、J2Cの修正	●	●	
0-9 (SPDB) マテリアライズドビューの作成	●	●	
0-10 (SPDB) シーケンス制約	●	●	
0-11 (SPDB) 制約の作成	●	●	
0-12 (SPDB) インデックス	●	●	
0-13 (SPDB) トリガ	●	●	
0-14 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-15 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-16 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-17 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-18 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-19 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-20 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-21 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-22 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-23 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-24 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-25 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-26 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-27 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-28 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-29 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
0-30 (SPDB) テーブルの作成	●	●	
1 移行前			
1-1 (SPDB, 94018539) 移行前の準備	●	●	
1-2 (SPDB, 94018539) 移行前の準備	●	●	
1-3 (SPDB, 94018539) 移行前の準備	●	●	
1-4 (SPDB, 94018539) 移行前の準備	●	●	
2 移行準備			
2-1 (SPDB, 94018539) 移行準備	●	●	
2-2 (SPDB, 94018539) 移行準備	●	●	
移行準備 J2C の修正			
2-3 (SPDB, 94018539) 移行準備	●	●	
移行準備 J2C の修正			
2-4 (SPDB, 94018539) 移行準備	●	●	
3 移行後			
3-1 (SPDB, 94018539) 移行後の準備	●	●	
(SPDB) 移行後の準備			
3-2 (SPDB, 94018539) 移行後の準備	●	●	
(SPDB) 移行後の準備			
3-3 (SPDB, 94018539) 移行後の準備	●	●	
(SPDB) 移行後の準備			
3-4 (SPDB, 94018539) 移行後の準備	●	●	
(SPDB) 移行後の準備			

# 4. OSS (Open Source Software) 導入事例

## 情報発信会社

FTP、メール、拠点間データ連動システム

スケール、概要



多拠点間を結んでデータ配信  
数十社に及ぶ顧客企業に配信  
数万人規模のユーザーにメール

# 5. OSS (Open Source Software) 導入事例

## [ 1 ] 関連製品

ユーザー	システム	製品	作業範囲
情報発信会社	FTP、メール、拠点間データ連動システム	VMware vSphere Redhat Enterprise Linux、CentOS、 Windows2008R2 Apache、Tomcat、 PostgreSQL、Mysql、 Postfix、PHP IIS、ASP、.NET	動作検証 機器・ソフトウェアの選定 ソフトウェア導入 監視サーバ構築 障害対応

# 6. 最後に

---

## ■OSS系DBの移行

- 移行のタスク自体は、従来のDBと変わらないだろう
- 互換性や、移行時のツールの優位性が時間短縮の要素

## ■当社として

- OSS系DBの移行も提案していきたい
- 検証や、ノウハウも重要
- 長期間運用した場合に、保守／監視等の重要性を再確認したい



**ITP**

IT Produce

<http://www.it-produce.co.jp/>